

# 平成30年度 シラバス (半期 15 回授業用)

科目名	地球環境学	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			全学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Global Environmental Studies	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	むらなか たかし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	村中 孝司	修得単位	2単位
授業のテーマ	我々人類が直面している地球環境問題・生物多様性問題について、人間社会の視点から学ぶ。		
授業概要	2011年、世界人口は70億人を突破した。一方、地球上の資源には限りがある。私たち人類はその限りある資源の中で生きていかななくてはならない。講義では、地球環境問題、生物多様性、農業問題など、人間生活や社会に密接に関わりのある環境問題について紹介する。		
到達目標	人間社会の発展と地球環境の保全の両立をどのように考えていけばよいか。		
授業時間外の学習	地球環境問題、生物多様性問題について、日頃からよく考え、新しい情報を入手しておくこと。		
履修条件	特になし。		
授業計画			
第1回	ガイダンス 豊かさと環境問題		
第2回	公害と環境問題の歴史 産業革命と工業化、公害、大気と水		
第3回	地球温暖化 地球温暖化の原因と影響、フィードバックループ		
第4回	オゾン層破壊 オゾン層の生成と消失、フロン類、人体や自然界への影響		
第5回	酸性雨・酸性霧・酸性雪 pH、酸性雨の原因と影響		
第6回	水質汚濁と化学物質汚染 富栄養化、農薬・除草剤、重金属類、海洋汚染、生物濃縮		
第7回	砂漠化と森林破壊 農業形態のあり方の変化による土地の劣化、過放牧、過耕作		
第8回	生物多様性 生物多様性とは何か、生物多様性の階層		
第9回	生物多様性を脅かす3つの要因① 開発・乱獲、分断・孤立化、管理放棄		
第10回	生物多様性を脅かす3つの要因②、生態系サービス 外来生物の侵入による影響、生態系サービス		
第11回	環境の修復と環境アセスメント 自然保護制度、回避・低減・代償、アセスメントの実態		
第12回	環境価値の評価 環境の経済的価値、仮想評価法、トラベルコスト法など		
第13回	エネルギー問題 化石燃料エネルギー、自然エネルギー		
第14回	循環型社会の構築 里山の利用、3Rとゴミ問題、ライフサイクルアセスメント		
第15回	世界人口と食料問題 食料自給率、フードマイレージ		
第16回	定期試験		

テキスト	授業中に紹介する。
参考文献・資料	植田和弘・大塚直『環境と社会』放送大学 御代川貴久夫『環境科学の基礎（改訂版）』培風館
成績評価の方法	<p>【定期試験(60%)、レポート(30%)、授業中の課題(10%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席回数が規定に満たない場合は履修の認定をうけることができません。</li> <li>・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。</li> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> <li>・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テスト等を行います。</li> <li>・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。</li> </ul> <p>&lt;成績評価の基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度以降入学者 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</li> <li>・平成27年度以前入学者 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</li> </ul>
オフィスアワー	火曜 14:40~16:10、金曜 13:00~14:30
学生へのメッセージ	環境問題を知ること・理解することは、私たちが生きていくためそのものです。